

環境についての感性を高め、よりよい環境づくりを推進していく行動力を養う

守山市立吉身小学校

「あふれる笑顔、やる気いっぱい」を合い言葉に、『よ』く考え、『し』っかり最後までやり抜き、地域の方々と共に『み』んなを思いやる態度につながる環境教育に取り組んでいる。

1 はじめに

本校は創立38年の学校である。

「吉身」という地名は、野洲川の伏流水が至る所で田畑を潤し、人々に恵みをもたらしてきた「吉水（良き水）」が由来とされている。

校区は、JR守山駅に近く、官公庁や住宅地、商店街の中にあり、都市化の進む地域である。そのため、家庭での飼育や栽培など生物とふれ合う経験が少ない子どもが多い。

しかし、花の好きな子どもや家庭が多く、本校のPTA環境安全部では、各地区ごとに地区花壇の世話を子どもと一緒にしている。

2 本校の環境教育

本校の環境教育の目標は、「環境についての感性を高め、よりよい環境づくりを推進していく行動力を養う。」である。

この目標を目指し、総合的な学習の時間を中心に、地域の協力を得ながら「水、ホテル、花、食物」を主題とする学習に取り組んでいる。

(1) 各学年等の取組

ア よしみ学級（特別支援学級）の取組

「カレー・おでんづくり」

野菜を学級園で栽培し、自分たちで調理して食べる活動に取り組んでいる。また、地域の農業経験者を招いて、作物の育て方等を教えていただいたり、ともに汗を流したりすることを通して、食べ物大切さを学んでいる。

イ 1年生の取組

「吉身の四季」

校区内にある「ふれあい公園」で、季節ごとに身近な草花や虫を観察し、観察カードに記録して、季節ごとの自然の移り変わりをまとめた。また、「秋見つけ」の活動では、校外学習に出かけ、どんぐりや落ち葉等を集めてきた。

それらを使って、秋いっぱいランドを催し、近隣の園児を招いて交流した。

ウ 2年生の取組

「野菜づくりに挑戦」

植木鉢を使って、なすやピーマンなどの作物を栽培し、自分たちで調理した。子どもたちにとっては、給食でも食べ残しがちな食材ではあるが、どの子も手塩にかけて育てた野菜とあって、べろりとおいしくいただいていた。

エ 3年生の取組

2年生の後半から育てているキャベツを用いて、理科の授業で、もんしろちょうをたまごからかえす飼育する学習に取り組んだ。

子どもたちは、えさを絶やさないように、キャベツを大型の植木鉢に移し替え、鉢ごと幼虫を飼育する等の工夫を行っていた。学期末には、教室中がもんしろちょうであふれ、命の大切さを実感することができた。

また、学校の周囲では、6月になるとホテルが見られることから、子どもたちはホテルを観察したり、生態について調べたりしている。

オ 4年生の取組

「やまのこ」森林環境学習では、栗東の「森の未来館」で1泊2日の体験活動を行った。具体的には、「未来館」の方に指導いただきながら、森の中を散策したり、間伐体験を行った。

また、森のはたらきについて調べたり、樹木が育つ環境の条件などを教えてもらったりしながら、森林環境のはたらきについての学習を深めた。

また、3年生の学習から継続した取組の成果として、ホテルに関心をもつ子が多いこと

が挙げられる。5月にはホテルの森資料館へ見学に出かけ、地域で大切にしているホテルについての学習を深め、学習の成果を発表する機会も設けた。



「やまのこ」での間伐体験

カ 5年生の取組

本校の校区内には、国の史跡である下之郷の町があり、地元の方々から、下之郷遺跡に由来する赤米づくりを体験させていただく機会をいただいている。この取組は、今年で13年目を迎えている本校の伝統ある取組となっている。

代掻きから収穫までを体験し、作物を育てる苦労と収穫の喜びを味わう学習の場となっている。



赤米の田植え体験

キ 6年生の取組

身の周りの環境について自分たちでできることを実践し、全校に働きかけている。

①節水：手洗い場等では、蛇口をしっかりしめることと、歯磨き中の出っぱなしにしない。

②節電：電気の無駄づかいに注意し、留守教室の電気を消したり、間引き照明を進めたりする。

(2) クラブ活動の取組「自然探検クラブ」

校内の落ち葉等を収集し、作品に表現して

校内へ発信したり、校地内にある人口河川である「よしみっ子川」等で水生生物を観察したりして、自然に親しんできた。

(3) 委員会活動の取組

花のきれいな吉身小にするため、園芸委員会を中心に土づくりや草取り等を行い、花壇づくりを行っている。

また、校区内で一人暮らしの高齢者に育てた花をプレゼントする活動も続けている。

3 成果と課題

- ・体験活動を充実させることで、子どもたちが意欲的になり、課題意識を明確にもつことができた。
- ・園芸委員会での取組は、F B C花壇を窓口に、校内は勿論、校外にも花いっぱいを合い言葉に取り組んできた。この実践は親子2代にわたり継続している取組であり、定着してきている。一時マンネリ化が危惧されていたが、2月末に地元の一人暮らしの高齢者に花をプレゼントする活動が今年で6年目を迎え、地域から歓迎されている。
- ・自然探検クラブの活動は、市街地の中で、自然に親しみ、四季の美しさを肌で感じ取り、豊かな感性を育む一助となっている。
- ・各学年での取組は充実してきたが、各学年の取組のつながりを考え、6年間で子どもに育てる力を系統的に整理するために教育課程を見直す必要がある。
- ・一人ひとりの子どもに、環境をよりよくしようとする行動力がどのように育ったかを丁寧に見取り、取組の改善を図る必要がある。

4 終わりに

地域の取組から、よりよい環境づくりを推進していく姿勢を学ぶために、地域の企業が主催している出前授業を活用し、自ら環境をよくする行動力の育成につなげていきたい。

学 校 名	守山市立吉身小学校
住 所	守山市吉身三丁目2番地の26
電話番号	077-583-2386
E-mail	yoshimi@usennet.ne.jp